

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1019.00	2022/12/05
High	1033.00	2022/12/09
Low	981.51	2022/12/05
Close	1025.90	2022/12/09

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4408.00	2022/12/05
High	4531.00	2022/12/09
Low	4339.00	2022/12/07
Close	4505.00	2022/12/09

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	1908.00	2022/12/05
High	1968.40	2022/12/09
Low	1839.25	2022/12/08
Close	1956.70	2022/12/09

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	8248.00	2022/12/05
High	8636.00	2022/12/09
Low	8082.00	2022/12/08
Close	8599.00	2022/12/12



ニュースエクスプレス

高インフレと高金利の中の貴金属

通常、ゴールドなどの貴金属はインフレに強い安全資産とされているが、2022年は米国債の高い利回りと強いドルという二重の逆風にさらされ、いつもと違う様相になっている。いずれはインフレになるという見方で、米10年国債利回りは急騰し、新型コロナウイルスの拡大が始まった2020年3月以来、初めて実質金利がプラスとなった。高い利回りは当然、金利を生まない貴金属には不利となり、そのためETF 市場では現物ゴールドのロングポジションが減り、COMEX でも投資家ロングポジションが減った。

経済の先行き不透明感が増していることを受け、国際通貨基金（IMF）は2023年の世界経済のGDP 成長率の予測を、2022年初めに予測した 3.8% から2.7% に下げた。欧州圏の GDP成長率も下がるとされる一方で、中国の成長は加速する予測だが、厳しいゼロコロナ政策と繰り返されるロックダウンがそれを覆す可能性もある。

経済成長のスローダウンは、宝飾品を始め工業製品の需要を押し下げて貴金属市場には打撃となる。上海黄金交易所で取引される地金のほとんどは宝飾品に使われるが、今年に入って何度も繰り返されるロックダウンと生活費の上昇で購買力が下がっていることから、取引量が減っている。

世界各国で金利よりもインフレ上昇率が高いまま推移していることを受けて、金利引き上げは来年、あるいはその後も続けられる可能性がある。不景気に突入することを恐れる各国政府及び中央銀行のインフレ対策は一様ではなく、政策金利を決定する上で様々な憶測が飛び交い市場のボラティリティが高くなるだろう。インフレを加味した実質金利は低いレベルもしくはマイナス金利となり、ゴールドなどの貴金属は特に高インフレの市場ではリスクヘッジなどに使われることで恩恵を被るだろう。

ロシアに対する燃料制裁の影響で供給難に陥っている特に欧州には、これから長く困難な冬が訪れ、産業への打撃、生活費の上昇、インフレ懸念などで経済的な見通しは悪化している。これは工業需要の多い白金族金属とシルバーにはより大きな打撃となるだろうが、ゴールドへの投資が増える可能性がある。経済的な影響を考えると欧州中央銀行が現在これ以上利上げをするのは難しいため、ユーロはさらに下がり、ユーロ建の貴金属価格が上昇することになるだろう。

<https://www.lbma.org.uk/chemist/chemist-107/precious-metals-in-a-time-of-high-inflation-and-rising-interest-rates>

ノリリスクニッケル、2022年のパラジウムの供給不足 18.7トンと予測

世界最大のパラジウムと高品位ニッケルの生産者、ロシアのノリリスクニッケルは、マーケットレビューレポートにて、今年のパラジウム市場は18.7トン（60万オンス）の供給不足となり、ロンドン・プラチナ・パラジウム市場がロシアの精錬所を除外したことで、パラジウムの世界的な供給は深刻な事態に陥るとしている。

レポートでは「ノリリスクニッケルが原材料から精錬パラジウムの生産に使うロシアの精錬所をLPPMのグッドデリバリーリストから除外するという安易な決定で、グッドデリバリー承認のスポンジとインゴットの供給が大幅に減少した。」

「需要が回復すれば、特に自動車生産が回復すれば、2023年の供給は全く追いつかないだろう。」としている。

さらに南アフリカの精錬所の操業中断も大きな生産リスクの一つであるとしている。

ノリリスクニッケルは、2022年のパラジウム市場の供給不足を当初は3.1トン（10万オンス）としていたが、それを18.7トン（60万オンス）に修正した。2023年の不足は24.9トン（80万オンス）になるとしている。

<https://www.urdupoint.com/en/world/nornickel-sees-palladium-deficit-at-600000-o-1602811.html>

Translated by Osawa KAZUKO

WPIC直近の活動

- 2023年、プラチナインゴットとコインの需要は49%増えて、3年ぶりの高水準に至る。北米と欧州の製造元はラッシュに応えるため生産量を増やしており、来年のプラチナ投資全体の需要予測はポジティブに戻り、ネットで6.6トンとなる予想。詳しくはプラチナ豆知識「インゴットとコイン人気高騰」（2022年12月08日）をご覧ください。

<https://platinuminvestment.com/about/60-seconds-in-platinum>



@wpicjapan

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。